

事務事業名		大船渡魚市場維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興								
	基本事業名	05 水産物の流通加工体制の強化		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和39 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		12	01	01	01	03
根拠法令		地方卸売市場大船渡市魚市場管理規則								
所属	部課名	農林水産部 水産課								
	課長名	鈴木 満広								
	係名	漁政係	電話	27-3111						
	担当者	浅田 治樹	内線	373						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				大船渡市魚市場の土地、建物の管理を行う。主な内容は、光熱水費の支出、施設修繕、施設管理の委託等である。		全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
平成26年度から、新しい大船渡市魚市場に施設を移行し、地方卸売市場大船渡市魚市場条例に基づき、活性化施設の管理を大船渡魚市場(株)に指定管理委託した。						総投入量(千円)				
						事業内訳		国庫支出金		
						財源内訳		都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)		0
						人件費		正規職員従事人数		
								延べ業務時間		
								人件費計(B)		0
								トータルコスト(A)+(B)		0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 光熱水費等の支出事務。施設管理業務の委託。施設修繕対応等。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度とはほぼ同じ内容。 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・大船渡市魚市場 ・魚市場利用者 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設を維持管理することで、魚市場業務が円滑に実施できるようにする。 ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 水揚量が増える。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 施設修繕箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ 保守管理委託契約件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 施設修繕箇所数	箇所	イ 保守管理委託契約件数	件	ウ	
	名称	単位							
	ア 施設修繕箇所数	箇所							
	イ 保守管理委託契約件数	件							
ウ									
	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 大船渡市魚市場施設面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>キ 大船渡市魚市場買受人数</td> <td>社</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 大船渡市魚市場施設面積	m ²	キ 大船渡市魚市場買受人数	社	ク	
名称	単位								
カ 大船渡市魚市場施設面積	m ²								
キ 大船渡市魚市場買受人数	社								
ク									
	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 施設設備の不具合件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 修繕等要望への対応率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 施設設備の不具合件数	件	シ 修繕等要望への対応率	%	ス	
名称	単位								
サ 施設設備の不具合件数	件								
シ 修繕等要望への対応率	%								
ス									

(2) 総事業費・指標等の推移							
	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業内訳	千円					
	国庫支出金	千円					
	都道府県支出金	千円					
	地方債	千円	4,151	5,449	2,632	39,301	28,023
	その他	千円			2,047		
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	4,151	5,449	4,679	39,301	28,023
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	1
	延べ業務時間	時間	200	400	200	200	50
	人件費計(B)	千円	800	1,600	800	800	200
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,951	7,049	5,479	40,101	28,223	
⑤活動指標	ア	箇所	1	5	5	15	5
	イ	件	0	4	4	1	1
	ウ						
⑥対象指標	カ	m ²	8,392.72	8,392.72	8,392.72	16,563.15	18,965.37
	キ	社	92	87	88	87	90
	ク						
⑦成果指標	サ	件	1	5	5	15	5
	シ	%	100	100	100	100	100
	ス						

事務事業ID	0582	事務事業名	大船渡魚市場維持管理事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	公設市場を開設したことによる(大船渡魚市場:昭和39年、細浦魚市場:平成5年)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地方卸売市場大船渡市細浦魚市場は平成25年7月1日に用途廃止し、8月1日地元漁協へ無償譲渡された。 平成25年度末に新魚市場が完成したため、平成26年度以降は指定管理制度に則った施設管理としている。旧魚市場施設は新魚市場完成後に取り壊した。現在、旧魚市場解体跡地に南側岸壁上屋を建設中であり、平成27年度に完成予定。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	新しい魚市場の建設時には想定できなかった、施設の修繕費や保守費用が発生した。 今後は、定期的なメンテナンス費用が必要になると思われる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 魚市場は水産業振興の中核となる施設であり、その円滑な運営は、当市水産物水揚量の確保・増大、ひいては水産業振興に大きな役割を果たすものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公設市場であり、地方卸売市場大船渡市魚市場条例に基づき市が行うべき部分に関する事業である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は魚市場施設とその利用者、意図はその適正な維持管理であり、ともに適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 新しい魚市場は、全国的に見ても先進的な高度衛生管理機能を持った魚市場である。そのため、当初は想定できなかったメンテナンス費用が発生する可能性があるため、今後はそれに合わせた維持管理費用を予算化する必要がある。 しかしながら、魚市場の機能向上などにより、そのコスト以上の水揚増加の可能性がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 適正な維持管理ができなくなり、魚市場の円滑な運営に支障を来すことから、廃止・休止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 公有財産の維持管理であり、他に方法はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 経常経費の削減に努め、必要最低限の予算で対応しており、これ以上の削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 活性化施設の維持管理は指定管理委託しており、人件費は通常の施設管理に係る最低限事務処理経費のみである。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事業に要する費用は、主に魚市場施設使用料であり、受益者が負担しているものである。

事務事業ID	0582	事務事業名	大船渡魚市場維持管理事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新しい魚市場の使用状況に合わせて、維持管理費用の見直しや追加が必要になると思われる。																						
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成26年度に新大船渡魚市場が完成し、施設管理については指定管理者制度に則った管理としている。 なお、現魚市場は平成26年度に解体撤去し、その跡地に魚種限定の荷捌き上屋を建設。(完成は平成27年度予定)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・新魚市場における光熱水費の負担は卸売業者との協議検討が必要である。																								

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	農林水産部水産課長	鈴木 満広
---------------	-------	-----------	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																								
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																								
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																								
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																								
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市が直接行う業務もあるが、指定管理者及び卸売業者が対応する業務が多い。指定管理が2年目に入り、今後、市と指定管理者との業務分担を見直すこと等により、有効性・効率性が向上する余地がある。																						
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 基本的には現状維持の考え方で継続して事業を実施するが、指定管理のあり方について、指定管理者と協議を行う必要がある。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
